

## 『身延論叢』第二十五号 編集後記

身延山大学仏教学会の機関誌『身延論叢』の第二十五号「特集 円弘と妙法蓮華経論子注」をお届けいたします。

### 一、掲載内容について

本誌は本会会員の投稿をもってこれを発行するものです。平成三十一年・令和元年（二〇一九年）は、編集委員による依頼原稿を含め、会員内外の八名の先生方よりご投稿いただいております。本号には、仏教学関係が六本、日蓮学関係が一本、福祉学関係が一本と、幅広い分野のユニークな研究成果が揃っておりますので、是非ともご高覧の上、忌憚のないご意見賜れますと幸甚に存じます。それでは掲載内容について簡単に紹介させていただきますと思います。

冒頭より四本は「円弘と妙法蓮華経論子注」に関する論攷で編成し、もって特集号とさせていただきます。

金天鶴先生の論攷は、円弘撰『妙法蓮華経論子注』に関する既発表の三本の論文中、最後に発表した韓国語の論文を日本語に翻訳したもので、円弘新羅人説について検討し、これを確定しています。

蓑輪顕量先生の論攷は、前述の金天鶴先生の論攷に対する既発表の論評を転載したもので、二、三の問題について指摘しています。

岡本一平先生の論攷は、逸書である円弘撰『円弘師章』を主題とする最初の研究として、その逸文を集成し、円弘の思想的立場について講究するなど、多岐にわたる視座を提示しています。

金炳坤先生の論攷は、円弘、並びに『妙法蓮華経論子注』に関する従来の研究成果を網羅的に紹介しながら、これを概観しています。

桑名法晃先生の論攷は、深草瑞光寺における研究調査を踏まえて、本妙日臨における元政からの影響を、戒観を中心に考察するもので、日蓮教学史上における戒の研究に新たな視点を加えています。

岡田文弘先生の論攷は、令和元年度身延山大学甲府公開講座「受け継がれるべきもの語り継がれるべきこと」の講演録で、多彩な資料を用いて、仏教説話というジャンルのシグニフィカンスについて述べています。

椿正美先生の論攷は、鳩摩羅什訳『妙法蓮華経』に対する語学的研究の続きで、「所」「見」「被」の用例を調査対象に、被動文の成立条件について古典漢語文法の立場から分析しています。

檜木博之先生の論攷は、ある県における「介護支援専門員専門研究過程Ⅰ」の受講者による自己評価を通して、介護支援専門員のケアマネジメントにおける課題について把握し、今後の研修の方向性について検討しています。

寄稿していただいた先生方に、この場を借りてお礼申し上げます。また、Jin Emma Strothman 先生には英文目次のネイティブチェックという編集協力をいただきました。ここに記してお礼を申し上げます。

## 二、リポジトリの登録完了報告

身延山大学リポジトリは、平成二十八年（二〇一六年）九月一日の公開以来、身延山大学で日々創造される研究・教育成果をインターネット上で公開し、社会に発信しています。

本会の前身で本誌の前誌である、身延山短期大学学会の研究紀要『棲神』（第三号と第十三号を除く全六五冊）の身延山大学リポジトリへの登録作業が、平成三十年（二〇一八年）より始まっていることについては、令和元年（二〇一九年）九月四日発行の『中外日報』の記事「資料電子化の進捗など報告」（二一面）においても取り上げられており、これが平成三十年十月十三日発行の「続『棲神』総目録（自第四十六号至第六十七号）」『身延山大学仏教学部紀要』第十九号（一五頁）において報告されているところですが、その後、同年十月三十一日に開催された「平成三十年度身延山大学仏教学会評議員会」では、担当の金炳坤評議員より「リポジトリの進捗状況報告」がなされ、この時点で『棲神』全六五冊のうち一八冊の登録が完了したとの報告がなされました。

また、二〇一九年十月三十日に開催された「令和元年度身延山大学仏教学会評議員会」では、担当の金炳坤評議員より、桑名法晃・身延山大学仏教学部助教、宇佐美玄秀・身延山大学附属図書館事務局長兼IR事務主任の協力のもと、残りの四七冊の

登録が完了したとの報告がなされました。

これにより、平成二十九年（二〇一七年）の計画当初より三年を別途として進められてきた、これまでに発行された『身延論叢』及び『棲神』の身延山大学リポジトリへの登録作業が無事に成満したこと、それに伴い、インターネット上でこれが見ることができるようになりましたことを、ここに報告させていただきます。

三、事務局便り（メールアドレス seishin@min.ac.jp）

①入会案内 入会を希望される方は「身延山大学仏教学会会則」を熟読の上、事務局（庶務）までご連絡ください。メール添付にて「身延山大学仏教学会入会申込書」を送らせていただきますので、必要事項を記入し、メール添付または郵便にて送付してください。

②購入案内 『身延論叢』及び『棲神』（第二十八号以降）のバックナンバーの購入を希望される方は、事務局（会計）までご連絡ください。一冊につき三、一八〇円（スマートフォン料金を含む）でご購入いただけます。

③原稿募集 投稿を希望される方は『身延論叢』投稿規定」を熟読の上、編集委員までご連絡ください。

(1)応募期限 原稿の種類・題名を七月末日までに編集委員にお申し出ください。

(2)投稿締切 投稿は随時受け付けますが、最終締め切りは十月末日（厳守）とさせていただきます。

本学の四六四年、本誌の一〇七年にも及ぶ歴史を正しく継承し、向後も、弛まず勤しんでおられる方々の結実を披露する場として活用できますように努力いたす所存でございます。会員各位のご寄稿を心よりお待ちしております。今後とも何卒旧倍のご交誼ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

編集委員 金 炳坤